

令和2年度 旭川歯科学院専門学校 学校自己評価結果報告書

1. 学校の教育目標

<教育目標>豊かな人間性を有し、歯科衛生士としての優れた技を磨き、良き社会人を目指す。
 <基本方針>*具体的な方策
 1. 全ての学習活動において、謙虚さを育み、気節を鼓舞し、創造への意欲づけを図る。
 2. 口腔衛生の普及と進展を図り、地域社会と連携し社会貢献に努める

2. 本年度の重点課題（目標及び計画）

1. 教育 合格率100%（国家資格） 就職率100%
 2. 地域社会との密接な連携を保ち口腔衛生の普及に尽力し、積極的に社会貢献に努める

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 建学の趣旨と教育の方針（教育理念・目標）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					H30・R1との比較
・学校の建学の趣旨と教育の方針は定められているか。	4	3.4	3	2	1	0.4P下降 (3.7 → 3.8 → 3.4)
・将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いているか。	4		3	2	1	0 (3.0 → 3.0 → 3.0)
・学校の建学の趣旨・教育の方針・将来構想は学生・保護者等に周知されているか。	4	3.1	3	2	1	0.1P上昇 (2.6 → 3.0 → 3.1)

① 課題

- ・今回のような新型コロナウイルス感染症が蔓延したときの授業方法の確立
- ・少子化、社会構造の変化に対応する建学の趣旨を踏まえた将来構想の検討

② 今後の改善方策

- ・建学の趣旨・教育方針を念頭においた将来構想の検討と教育内容の充実
- ・オンラインによる授業の構築

③ 特記事項

- ・母体である歯科医師会との緊密な連携

(2) 学校経営方針（学校運営）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					H30・R1との比較
・教育理念・目標に沿った学校経営方針が策定されているか。	4	3.4	3	2	1	0.1P上昇 (3.1 → 3.3 → 3.4)
・学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能しているか。	4		3	2.8	1	0.3P下降 (2.6 → 3.1 → 2.8)
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4		3.13	2	1	0.2P下降 (3.0 → 3.3 → 3.1)
・地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。	4	3.4	3	2	1	0.1P上昇 (2.8 → 3.3 → 3.4)
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	3.4	3	2	1	0.1P上昇 (2.9 → 3.3 → 3.4)

① 課題

- ・人的確保と質の向上、組織の有機的に機能させる方策
- ・将来的な問題の把握と情報共有による連携強化。

② 今後の改善方策

- ・旭歯本会と学校との協働体制のさらなる向上と連携強化の改善及び情報共有の実践
- ・本学の公式HPで情報発信と情報開示の範囲を決め、推進する。

③ 特記事項

- ・なし

(3) 教育活動 (各学年指導計画)

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					H30・R1との比較
・教育理念・目標に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3.4	3	2	1	0,1P下降 (3.3 → 3.5 → 3.4)
・カリキュラム (実習等を含む) は体系的に編成され学習時間の確保は明確化されているか。	4	3.8	3	2	1	0,5P上昇 (3.4 → 3.5 → 3.8)
・成績評価・単位認定・進級・卒業の基準は明確化されているか。	4		3.13	2	1	0,3P下降 (3.5 → 3.4 → 3.1)
・教育の方針 (人材育成) 達成に向けた授業担当教員を確保しているか	1		3	2.12	1	0,7P下降 (3.1 → 2.5 → 2.8)
・教員の先端知識・技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われているか	4		3	2.3	2	1 0,4P下降 (2.8 → 2.7 → 2.3)

①課題

- ・教職員の人材確保と資質向上のための知識・技能等の育成

②今後の改善方策

- ・将来的なことも考えて、教員を育成する体制の構築と教務事項の共有化の取組
- ・校内研修の充実、教員間での情報共有、学外の研修会、講演会等への積極的参加と発表。

③特記事項

- ・なし

(4) 学修成果

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					H30・R1との比較
・就職率の向上が図られているか。	4	3.9	3	2	1	0,3P上昇 (3.5 → 3.6 → 3.9)
・国家試験合格率の向上が図られているか。	4		3	2.3	2	1 0,4P上昇 (3.1 → 1.9 → 2.3)
・退学率の低減が図られているか。	4		3	2.3	2	1 0,5P下降 (2.7 → 2.8 → 2.3)
・卒業後の生徒のフォローアップなされているか。	4		3	2.4	2	1 0,2P下降 (2.8 → 2.6 → 2.4)

①課題

- ・ここ数年の国家試験不合格者分析を徹底し、対策を強化する。
- ・卒後の状況把握と卒業後のフォローの強化。

②今後の改善方策

- ・国試の結果をフィールドバックし、苦手教科の分析と徹底した強化対策を行う。多方面からの検討が不可欠である。国家試験対策授業の充実を図る。
- ・国家試験の傾向を各分野の講師にも協力いただき分析、授業の中で対策を立てていただく。卒後の学生の状況把握は、組織的に相談体制システムを構築する。

③特記事項

- ・なし

(5) 学生支援

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					H30・R1との比較
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3.4	3	2	1	0,3P下降 (3.7 → 3.7 → 3.4)
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4		3.13	2	1	0,3P下降 (3.5 → 3.4 → 3.1)
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3.4	3	2	1	0 (3.5 → 3.4 → 3.4)
・学生の健康管理を担う体制はある。	4	3.4	3	2	1	0,1P上昇 (3.1 → 3.3 → 3.4)

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				H30・R1との比較
・学生への生活環境への支援は行われているか。	4	3.29	2	1	0,3P下降 (2.9 → 3.2 → 2.9)
・保護者と適切に連携しているか。	4	3.13	2	1	0,1P下降 (3.2 → 3.2 → 3.1)
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3 2.5	2	1	0,3P下降 (2.6 → 2.8 → 2.5)

①課題

- ・卒業生への支援体制が明確にされていない。
- ・経済状況が悪化する家庭もあり、修学困難な状況をどのように援助・支援出来る体制をどのようにするか。

②今後の改善方策

- ・個人面談を通して、卒業生に卒後も支援できることを周知する。
- ・歯科医師会として、返還義務のある奨学金制度を考えてはどうか。

③特記事項

- ・学校長としての立場で、学生と積極的に関わって行く。

(6) 教育環境

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				H29・H30との比較
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4	3.3	3	2	0,3P下降 (3.1 → 3.6 → 3.3)
・学内外の実施設等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3.1	3	2	0,1P下降 (3.1 → 3.2 → 3.1)
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3.5	3	2	0 (3.6 → 3.5 → 3.5)

①課題

- ・臨床実習先により教育機会に違いがあり、様々でバランスにも限界がある。多施設に行くので、特徴をいかに把握し学ばせるか。

②今後の改善方策

- ・ITの利活用促進やカリキュラムの再構築。
- ・臨床実習先とのより一層の連携強化。

③特記事項

- ・情報の共有化（データ共有管理）

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				H29・H30との比較
・学生募集活動は適性に行われているか。	4	3.4	3	2	0,4P下降 (3.7 → 3.8 → 3.4)
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3.13	2	1	0,7P下降 (3.4 → 3.8 → 3.1)
・学費等納入金は妥当なものとなっているか。	4	3.6	3	2	0 (3.5 → 3.6 → 3.6)

①課題

- ・DHの仕事内容、活動の場、キャリアアップ等について、いかに広く伝えるか。
- ・少子化の中、定員確保が難しい状況であり、どのように解決していくか継続的な課題であ。
- ・学費の負担が年々親にとって過大となっている。

②今後の改善方策

- ・歯科医師、歯科衛生士からの専門的な説明機会を増やす。
- ・インターネット等による効果的な広報活動の強化。プロモーションビデオ（動画）の作成と周知。
- ・口コミや本会会員による地道な情報発信の継続。

③特記事項

- ・魅力ある学校へ。

(8) 財務

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					H29・H30との比較
・中期的に学校の財政基盤は安定しているか。	4	3	2.8	2	1	0,3P上昇 (2.6 → 2.5 → 2.8)
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	3.1	3	2	1	0 (3.0 → 3.1 → 3.1)
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	3.4	3	2	1	0,2P下降 (3.3 → 3.6 → 3.4)
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3.4	3	2	1	0 (3.1 → 3.4 → 3.4)

①課題

- ・少子化の中、学生数の確保が最重要で、短期的には大きな問題はないが、長期的に考えた経営が必要

②今後の改善方策

- ・歯科医師会からの協力維持と国・行政からの補助金等の対応を推進する。

③特記事項

- ・なし

(9) 地域社会貢献

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					H29・H30との比較
・臨地実習等を通して生徒・教員による地域社会貢献を行っているか。	4	3.2	3	2	1	0,5P下降 (3.3 → 3.7 → 3.2)

①課題

- ・令和2年度は実施不可の状況で、どのように地域と関わり衛生士という職業認知を広めるか。マンパワーも必要不可欠である。

②今後の改善方策

- ・変化（ニーズ対応）に相応した実習への転換が必要。
- ・イオンモールなどの職業体験イベント等への参加とPRの場を積極的に設ける。

③特記事項

- ・地道な活動が重要（臨地実習・学院祭など）

(10) 法令等の遵守

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					H29・H30との比較
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか。	4	3.4	3	2	1	0,4P下降 (3.5 → 3.8 → 3.4)
・個人情報に関して、その保護のための対策がとられている。	4	3.3	3	2	1	0 (3.3 → 3.3 → 3.3)
・学校自己評価の実施と問題点の改善を図っている。	4	3.1	3	2	1	0 (3.3 → 3.1 → 3.1)
・学校自己評価結果を公開している。	4	3.4	3	2	1	0,1P下降 (3.6 → 3.5 → 3.4)

①課題

- ・学校自己評価の問題点について、改善にむけて努力が明確にされていない。

②今後の改善方策

- ・問題点を具体的に解決する方策の検討が必要。
- ・情報公開の徹底。

③特記事項

- ・外部評価委員会の設置。